

若者をとりまく依存症の現状 ～わたしたちにできること～

定員：120名
(申込先着順)
参加費 無料

若者を中心に薬物依存、特に市販薬への依存が社会問題になっています。

本研修では、生きづらさを抱える若者が助けを求められない背景や、生き延びるための市販薬依存・自傷行為等の行動を理解し、支援者としてできること等について学びます。

日時 令和8年2月3日(火) 13:15～16:30 (受付 12:45～)

場所 エルおおさか 大阪府立労働センター 南館5階 南ホール
(大阪市中央区北浜東3-14)

会場へのアクセスはこちら



● 講義 「社会は本当に若者を応援しているのか ～市販薬乱用の臨床から考えたこと」

講師：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
薬物依存症センター センター長

松本 俊彦 氏



市販薬のオーバードーズや自傷行為を繰り返す若者たちの支援、依存症とその背景にある生きづらさ等、多岐にわたるテーマで講演をされている松本先生からは、若者の依存症の現状、市販薬依存や自傷行為等の理解と支援についてお話しいただきます。

● 体験談 「本当は自分にもどうしようもなかった ～非行、シンナー乱用、リストカット、無数の根性焼き、 オーバードーズ、、、見過ごされた傷と痛み～」

発表者：リカバリハウスいちご

渡邊 洋次郎 氏



万引きなどの非行やアルコール・薬物への依存から、精神科病院への入院や刑務所での服役の経験を経て、現在、依存症の回復施設で依存症の方の支援に携わっている渡邊さんからは、少年時代に感じていた生きづらさ、また依存症からの回復などの体験談をお話しいただきます。

● グループワーク等

対象 保健所職員、市町村職員、その他相談支援に携わる関係機関職員
大阪府内の高等学校、大学等の教職員等

申込 研修案内ページ内にある申込フォームか下記の二次元コードよりお申込みください。

こころのオアシス <https://kokoro-osaka.jp/>

依存症予防教育 → [依存症相談対応・実践研修（A-2）](#)

締切：2月2日（月）12時まで

「若者をとりまく依存症の現状」



問合せ先

大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課 担当：引地・村谷
TEL：06-6691-2818 FAX：06-6691-2814
E-mail : kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp